

令和 6 年度

学校法人 阿弥陀寺教育学園

専門学校新国際福祉カレッジ

事業計画書 ~~＝(案)＝~~

1、教育方針・目標

：学校法人 阿弥陀寺教育学園「建学の精神」

- 一、生命への畏敬 生きて会う喜び、世界の友達
- 二、お世話になった人に心から有難うと言える感謝の心を持った人物の育成
- 三、国際交流・親善、共に生きる社会・共生、地域社会、国際社会への貢献
- 四、人をおもいやるやさしい心のある人物を育てる
- 五、我らの人生には夢あり希望あり、夢に生きる念願成就の人生行路を不退転で進もう
- 六、夢の叶う学園、子供・学生たちのコミュニテ笑顔広場
- 七、異文化 日本文化、仏教文化の理解・教養・学習

専門学校新国際福祉カレッジ

：「教育テーマ」校訓

『優しさ・思いやり・感謝』

：「教育理念」

世代の壁を越え、かつグローバルな学び舎の中で学生の一人ひとりの個性に向き合い、誰もが分かりやすい学びの環境を提供し、介護福祉の専門性を育み、その学びを人生に活かすことができる教育を行います。

：「教育方針」（教育目標）

人を敬い、誠実で信頼できる人材を育てる。

・・・介護人である前に人間性が崇高であること

介護現場に即戦力になる職業人を養成する。

・・・介護の専門的知識・理論・技術の習得したプロであること

介護の専門職としての科学的な思考を育む。

・・・介護の専門性をもって介護実務の根拠が説明できること

：教育内容

・介護福祉学科 カリキュラム・ポリシー

介護福祉及び社会福祉分野における高度で専門的な実践能力を有する人材を育成するために介護福祉士養成課程の「介護」、「社会の理解」、「こころとからだのしくみ」の3つの領域と“地域”（千葉県）を結びつけた教育的アプローチによる実践的教育、倫理的教育、専門的教育で構成された教育課程を編成する。＊別紙「介護福祉士養成（教育）課程表」のとおり

2、専門学校新国際福祉カレッジ 設置年月日

平成 10 年 3 月 24 日 経過年数 26 年

3、専門学校新国際福祉カレッジ定数

介護福祉学科 定員 40 名 / 学級 2 年制
(新入生 39 名 2 年生 31 名)
学生実員合計 70 名 (定員充足率 87%)

4、職員概要

- ・ 学校長 1 名、学科長 1 名
専任教員 2 名、専門教務助手 2 名
介護養成課程非常勤講師 10 名
日本語非常勤講師 1 名
- ・ 事務長 1 名、事務職員 1 名
事務非常勤 1 名、運転営繕非常勤 2 名、掃除非常勤 1 名
*別紙 令和 6 年度学校法人組織図(専門学校)のとおり。

常に「学校をよりよくするために自分に何ができるのか」を職員一人ひとりが意識した行動を能動的に実践していける組織づくり。
役割分担を明確にし、「誰が、いつまでに、何をするのか」を明確にする。
組織の力を活かして最大限の運営パフォーマンスを行い、組織としての自立・自律を目指す。学校の職員は、教育に携わる者として自らが襟を正し、学生に対してリスペクトを忘れず、率先模範となることを意識して教務に当たる。

5、職員の状況

- ・ 平均年齢 57.1 歳
- ・ 離職率 令和 5 年度 18.2% (非常勤 2 名の運転手兼営繕の退職)

6、学生募集活動

介護福祉士国家試験の完全義務化となる令和 8 年度(2026 年度)入学生までに募集ターゲットを“日本人高校の新卒生”を主として入学志望者の獲得の実績を積み上げていくことで安定的な定員充足を目指す。
また留学生についても卒業生、在校生のネットワークを通じて紹介による獲得をさら強化し、日本語レベルの高い学生層を選別ができる仕組みを構築する。JLPT : N3 以上 N2 取得者の座席率の比率を上げる。

令和6年度学生獲得目標 40名

日本人 20名（新卒15名 / 職業訓練生5名）

留学生 20名（N3以上にてN2同等の日本語能力者）

目標達成のための具体策)

- ・オープンキャンパス（学校説明会）の時期、回数、内容を改善の上、強化。日本人と留学生のそれぞれに合わせた内容で実施する。
- ・ネット戦略、募集媒体のフル活用（ベスト進学ネット、リクルートのスタサプ進路、みんなの学校、ベネッセ・マイナビジョン等）
- ・高校生を対象とした広報策としてパンフレット及びホームページを毎年、刷新（アップ・デート）し学校のイメージ訴求力UPと認知度を上昇させる。
- ・引き続きLINE、TwitterなどWeb、SNSを活用し最新情報や“動画”による学校紹介の掲載など学校についての視覚的な訴求を行う。
- ・学校説明会参加者へはLINE登録を促し、情報発信のフォローを行う。
教員と在校生が一体となって積極的に情報発信していく。
- ・校長による千葉県下の主要校40校（指定校）への定期的な重点訪問活動の実施（千葉県下から選別100校に対する定期的なDMも平行して行う。）
- ・留学生の募集については全国展開を行い、日本語学校の実績校を中心に介護事業法人との連携を増やし、N2以上もしくはそれと同等の日本語能力のある学生の獲得を目指す（校長による学校訪問）。
- ・日本人職業訓練生に特化した職業適性を含めたキャリア教育の訴求を行う。
- ・法人との教育連携を強化し、連携法人の職員から学びなおし（リカレント教育）希望者の開発を行う。

*指定校 千葉県の主要高等学校 50校

*提携先：元株式会社ニチモ小浦・保科氏→タイ・ミャンマーからの大卒留学生紹介プロジェクトに参画

3H 日本語学校・Tokyo one 日本語学校・習志野外語学院（千葉）

さくら国際言語学院（下関）

春日日本語学院（神戸）・神楽日本語学園（神戸）

九州日本語学校（鹿児島）

国際アカデミーランゲージスクール（仙台）

TLS 袋井（タクシン・ランゲージ・スクール）（静岡）

広島福祉専門学校日本語学科・広島アカデミー城見校（広島）

7、保有車両

○赤バス（トヨタ コースター 千葉 200 さ 1334）

走行距離 115,972km

初年度登録 平成 15 年 12 月

○黄バス（三菱 ローザ 千葉 200 さ 2477）

走行距離 16,225km

初年度登録 平成 24 年 12 月

○ノア（千葉 300 ほ 5448）

走行距離 60,588km

初年度登録 平成 19 年 9 月

○ヴィッツ（千葉 503 の 6576）

走行距離 42,161km

初年度登録 平成 23 年 3 月

* 走行距離は令和 6 年 2 月 21 日現在

8、新国際福祉カレッジ 取引業者

- ・ 労務管理 社労士法人ハーモニー
- ・ 公認会計士 給与計算の委託業者は現在「株式会社スリーエス」
- ・ 防犯 ALSOK
- ・ 職員健康診断 ちば県民保健予防財団総合健診センター
- ・ 電気 電気保安管理「株式会社フィデス」
電気利用契約「東京電力エナジーパートナー株式会社」
- ・ ゴミ処理 石井開運株式会社・ J & T 環境株式会社
- ・ コピーリース 富士フィルム
- 建物火災保険 損害保険ジャパン日本興亜
- 車両保険 損害保険ジャパン日本興亜

9、職員研修

専任教員は介護教員講習会の受講必修要件（未受講の教員は受講）

教員としてのスキルアップ、自己啓発及び研究心の向上のため専任教員に対しては働きながら大学院への入学（修士以上の学位取得）及び研究員としての活動を推奨する。特に、社会福祉主事コースの専任教員の資格要件である当該科目＝社会福祉学における修士以上の学位取得が望ましい。

* 地域の高等教育機関の大学との介護福祉・社会福祉分野での教育研究の協働を図る。教育研究連携機関：淑徳大学・国際医療福祉大学・群馬医療福祉大学

10、安全管理

- ・「消防計画」「学校安全計画」各種計画に基づく。

11、地域貢献・地域連携

- ・千葉県介護福祉士養成校連絡協議会 会長（校長）
- ・千葉県介護人材確保事業（小中高を対象とした介護体験教室）
介護キャラバン隊の積極的活動（学科長・専任教員）
- ・千葉県社会福祉協議会千葉県福祉人材センター
就職相談会イベント連携（介護体験教室・養成校の紹介活動）
- ・介護労働懇談会 委員（校長）
- ・千葉県人材センター運営委員会委員（校長）

12、主となる学生募集関係業者及び予算

リクルート（スタサブ進路・進学辞典）	2,365,000 円
ベスト進学ネット	1,320,000 円（オプション含）
ジャイロコンパス（パンフ刷新）	300,000 円
イトクロ（みんなの学校）	200,000 円（令和 5 年度実績）
さんぼう	650,000 円
TAP	150,000 円
専門学校公式ガイドブック	420,000 円
全国専修学校要覧	80,000 円
合計	5,485,000 円（概算）

13、**2023 年度の成果**

学校組織体制)

学科長及び事務長の適正な配置により学校組織としての教務・事務に関する指揮・実務が系統立て行える組織を構築し、しっかりした組織運営が可能となった。

学習環境・設備)

明るく元気な雰囲気生まれ、学校全体に活気を取り戻すことができた。
担任制及び教務助手の配置により学生の状況に合わせて個別に相談がしやすい対応が可能となった。学校整備において、学校環境を明るくするための様々な対応（カーテンの取換・備品配置の変更・玄関ロビーの整備等）が実現。

学生募集)

令和 6 年度の学生獲得にて 39 名（定員充足率 97%）の確保が可能となった。
学校説明会参加者約 150 名、出願者 65 名より前年度より日本語能力の高い留学生の選抜による獲得が可能となった。具体的には紹介・口コミによる獲得・日本語学校へのアプローチ留学生の入手ソースの確立ができた

その他) スクールバスの安全運転管理の見直しを行い、運行状態の改善を行った。

14. **2024 年度の課題**

専修学校及び養成校としての基準・規程及び労働基準法、学校衛生法、安全運転管理法及び介護福祉士養成校として運営基準など法令の完全なる遵守ができていのかどうか再度総点検を早急に実施する必要がある。

学生の獲得に関して、令和 8 年度入学生からの介護福祉士国家試験の完全義務化にともない、日本人の獲得の必要性があり、2024 年度のカレッジは留学生の比率が 87%となっており、留学生に比重をおいた運営からの脱却が必要。

設備の老朽化に伴い、メンテナンスの必要なものが残存している。

特にエアコンの整備は夏季の時期の学生の体調管理を含めて必要不可欠な課題。早急な雨漏りの補修改善を行う必要性。

15. **2024 年度の予測及び課題解決のための重点目標及び施策**

令和 6 年度運営テーマ『明るく元気な学び舎で一人ひとりの学生に向き合える
魅力ある学校を創造し地域 No1 の介護福祉士養成校を目指して』

- ・ 2023 年度の学生獲得の実績効果は引き続き繋がっていくものと思われる。
そのルートを確保の上、2024 年度も前年の実績ソースをさらに充実させ拡大する展開を行い、向上させていく。
- ・ 令和 7 年度の 3 コース制の導入に伴い、その効果を最大限に活かす環境準備
- ・ 個別のニーズに合わせた相談及び指導力の強化、キャリア教育を含んだ相談支援体制の整備
- ・ 国家試験対策における合格率の向上（N3 レベルの留学生の試験対策の研究）

その運営体制の確保の為



- ・ レイアウト・各部屋の用途変更（空き教室の活用）の実施・・・別紙資料添付
- ・ 教務体制の変更：定員を超える入学者の受入に伴う教員の増員（2 名）
- ・ カリキュラムの追加変更（必須科目に上乘せして教育の充実を図る）
- ・ 出願率をさらに引き上げ、競合他校との状況及び市況の分析を行い、入学検定料の見直しを実施（増額の方角）
例）現在検定料 10,000 円→20,000 円 学費収入以外の収入の増加を目指す。
- ・ 国家試験対策における合格率の向上（N3 レベルの留学生の試験対策の検討）
- ・ 学生獲得の重要性とコスト意識の認識を教職員の一人ひとりが持てること。

◎本事業計画にもとづく教務についての具体的計画の詳細は
別紙「教務部門計画」のとおり。